



がんは、いつ始まるの？ 体の中で起きている 「見えない変化」

ヒトの体の中では、
将来的にがん化につながるような遺伝子変異が、
何十年とかけて少しずつ蓄積していることが分かってきています。
でも何の症状もない。だから気付けない。
そこから何をきっかけに発症へと至るのか？
がんの「その前」に、体の中で何が起きているのかを見てみましょう。
人類が手にした新たな可能性、“核酸医薬”による
がん制御についても少しご紹介します。



〈ゲスト〉
ひらおか はるか
平岡 陽花氏

名古屋大学大学院 理学研究科
生命理学専攻／高等研究院 特任助教
大阪大学大学院生命機能研究科修了 博士(理学)。2020年度より、
名古屋大学大学院理学研究科理学専攻化学で博士研究員として核酸
医薬の研究に従事。2023年度より、同研究科生命理学専攻で“細胞競
合”に着目したがん研究に取り組む。2025年度より、高等研究院と兼務(
現職)。専門は細胞生物学。

2026.

2.26 火

19:00-20:00 (ゲストトーク)

20:00-20:15 (Q&A)

参加費
無料

〔対 象〕 どなたでも(学生の方も歓迎)

〔セミナー申込〕 Zoomウェビナーにてお申し込み

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_PykjQOBUQhWvSzR_P5sVjQ

〔視 聴 方 法〕 Zoomウェビナーにて開催

お申込みされた方にウェビナー視聴URLがメールで届きます。
PC、スマートフォンよりアクセスしてご視聴ください。

〔問 合 せ〕 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp

